

## 米国 総合インフレの上ぶれもコアインフレの加速は回避(08年5月消費者物価)

発表日：2008年6月13日(金)

～エネルギー・食品価格の上昇による購買力の低下がコアインフレの上昇ペースを抑制～

第一生命経済研究所 経済調査部

桂畑 誠治(かつらはた せいじ)

03-5221-5001

○5月の消費者物価(総合)は食品が鈍化した一方で、エネルギーの伸びが高まったこと等によって前月比+0.6%と加速し市場予想の同+0.5%を上回った。食品価格が同+0.3%(前月同+0.9%)と鈍化した。エネルギー価格が同+4.4%(同0.0%)と急騰した。食品では、果物・野菜、肉・魚、アルコール飲料、砂糖、オイル等が鈍化した。エネルギーではガス・電力が同+2.3%(同+2.5%)と鈍化した。燃料油が同+7.9%(同+3.6%)と加速した。ガソリン価格は同+5.7%(同▲2.0%)と上昇に転じた。

○エネルギー・食品を除く消費者物価(コア)は前月比+0.2%と市場予想通りの結果となり加速を回避。3カ月前対比年率では+1.8%と小幅加速したものの+2.0%を下回り、さらに6カ月前対比年率では+2.1%と鈍化傾向を辿っていることから、川下でのコアインフレの上昇モメンタムは弱まっている。このように、エネルギー・食品価格の上昇によって購買力が低下するなかで、コアインフレの加速は回避されている。

○財・サービス別では、財価格(コア)が下落した一方、サービス(コア)の上昇ペースは加速した。財ではタバコが上昇したが、販促のために値下げが実施された衣料品、自動車、パソコン、医薬品が下落したため財価格(コア)は前月比▲0.1%と下落した。サービスでは、帰属家賃、家賃、教育が鈍化したものの、余暇、個人向けケアサービス、ホテル等の宿泊費、医療サービスの上昇によってサービス価格(コア)は前月比+0.3%と小幅加速した。

○各種の消費者段階での物価統計の動向を前年比でみると、総合が+4.2%(前月+3.9%)、コアが+2.31%(同+2.26%)と小幅加速した。より実態の物価動向を示す連鎖CPIコアも+2.02%(同+1.94%)と小幅加速。信用収縮、エネルギー価格の上昇によって景気が大幅に減速しているものの、コアインフレがFRBが物価安定と判断しているレンジの上限付近で推移していること、エネルギー・原材料・食品価格の上昇が続き、期待インフレ率が上昇していることなどから、FRBはインフレへの警戒を強めている。6月24、25日のFOMCでは政策金利を据え置く一方で、声明文でインフレ警戒姿勢を強めよう。

○今後に関しては、エネルギー・原材料価格は高止まりする可能性が高い。しかし、賃金の上昇ペース鈍化、労働生産性の改善が見込まれ、ULC(単位労働費用)は緩やかな伸びにとどまろう。加えて、価格動向に大きな影響を与える競争環境では米国内需要が鈍化する一方で、世界的な供給能力の拡大が続くため、より厳しい価格競争にさらされ続けよう。

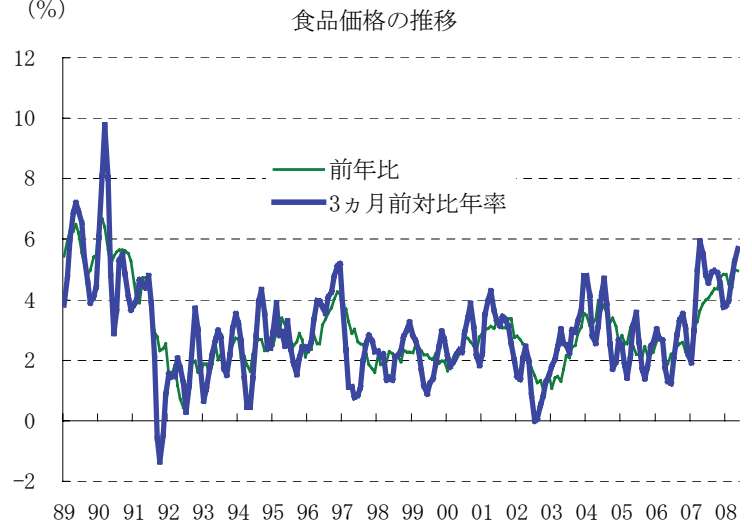
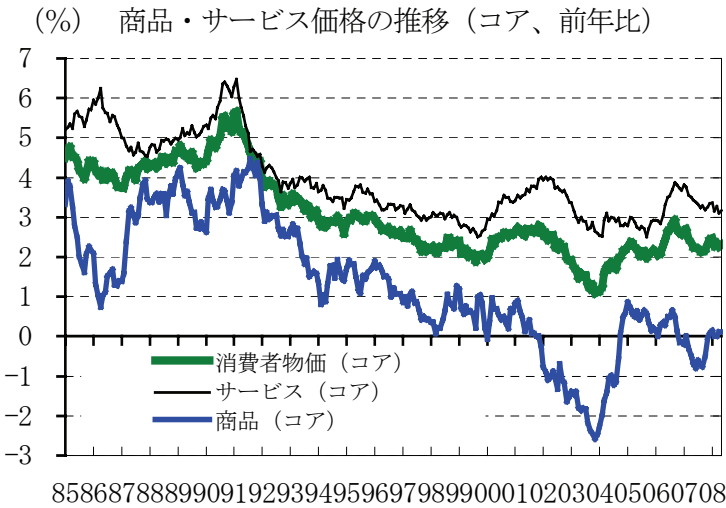
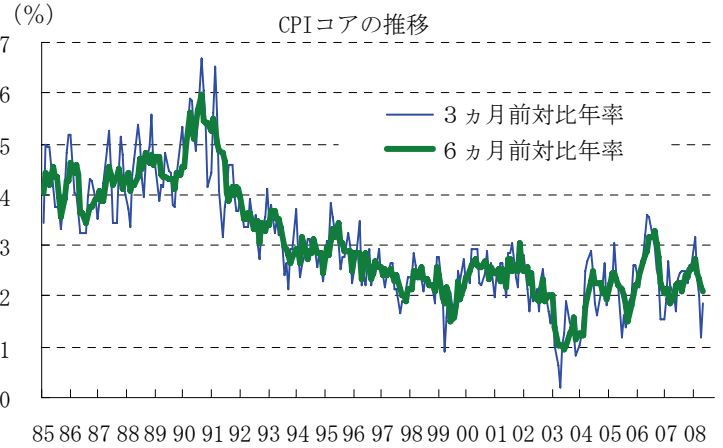
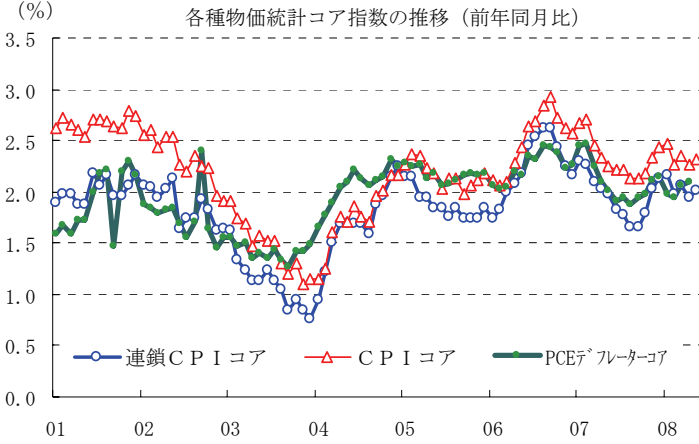
このような環境では、原材料価格などのコストが上昇しても価格転嫁は難しく、財価格は緩やかな上昇にとどまると予想される。サービスでは高齢化による医療サービス価格の高止まりが続くとみられる。ただし、帰属家賃の伸びが賃料の鈍化に加えて、控除要因となるエネルギー価格の高い伸びによって抑制され、サービス価格の急上昇は回避されよう。以上のことを勘案すると、年内のCPIコアは前年比+2%台半ば程度、PCEコアデフレーターは同+2%台前半での推移が予想される。

消費者物価 (Consumer Price Index)

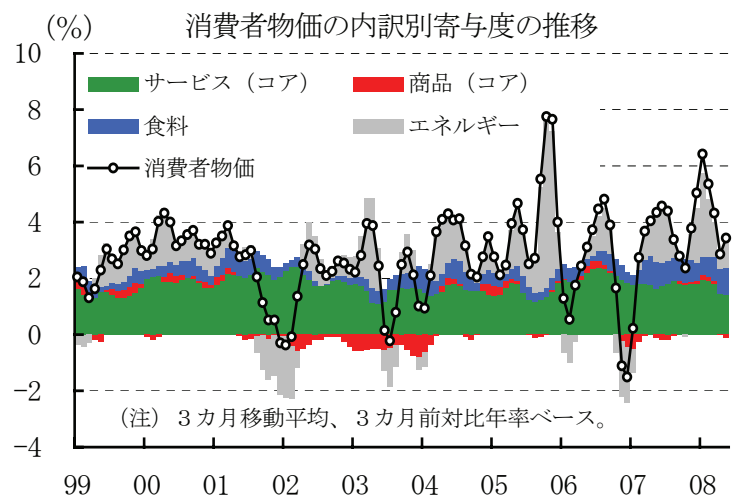
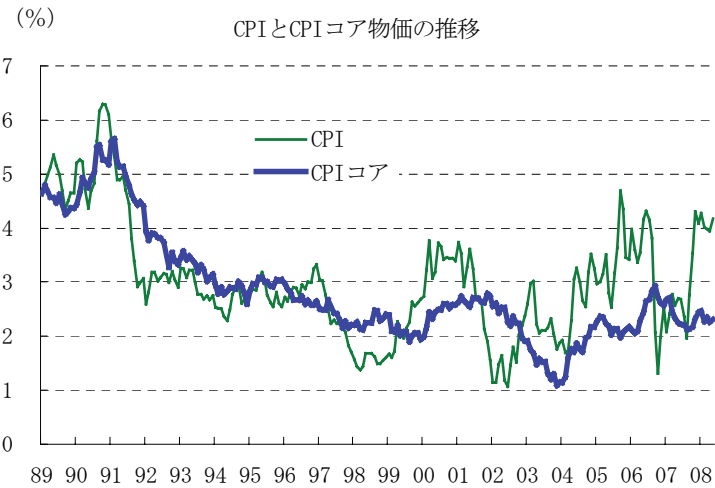
	消費者物価												
	総合		コア		エネルギー	食品	住宅	アパレル	運輸	医療	商品 コア	サービス コア	
07/10	+0.3	(+3.5)	+0.179	(+2.17)	+1.0	+0.2	+0.2	+0.1	+0.3	+0.5	+0.0	+0.2	
07/11	+0.9	(+4.3)	+0.241	(+2.33)	+6.9	+0.4	+0.4	+0.6	+3.5	+0.4	+0.1	+0.3	
07/12	+0.4	(+4.1)	+0.224	(+2.44)	+1.7	+0.1	+0.3	+0.1	+1.0	+0.3	+0.0	+0.3	
08/01	+0.4	(+4.3)	+0.311	(+2.47)	+0.7	+0.7	+0.2	+0.4	+0.5	+0.5	+0.2	+0.4	
08/02	+0.0	(+4.0)	+0.040	(+2.27)	▲0.5	+0.4	+0.2	▲0.3	▲0.7	+0.1	▲0.1	+0.1	
08/03	+0.3	(+4.0)	+0.152	(+2.35)	+1.9	+0.2	+0.4	▲1.3	+0.7	+0.1	▲0.1	+0.2	
08/04	+0.2	(+3.9)	+0.104	(+2.26)	▲0.0	+0.9	+0.3	+0.5	▲0.7	+0.2	+0.0	+0.1	
08/05	+0.6	(+4.2)	+0.202	(+2.31)	+4.4	+0.3	+0.5	▲0.3	+2.0	+0.2	▲0.1	+0.3	

(出所) 労働省

(注) 数字は季調済前月比。但し、( ) 内は前年同月比 (未季調)。



(出所) 米労働省



本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見通しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。